



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月7日

上場会社名 株式会社今仙電機製作所  
 コード番号 7266 URL <http://www.imasen.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 足立 隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 奥田朋近

TEL 0568-67-1211

四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	30,652	7.8	1,073	57.5	944	71.5	638	39.8
30年3月期第1四半期	28,439	2.1	681	56.8	550	789.2	456	

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 670百万円 ( %) 30年3月期第1四半期 312百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	30.71	
30年3月期第1四半期	22.28	21.96

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	84,099	49,749	58.8	2,378.91
30年3月期	86,107	50,817	58.6	2,427.55

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 49,466百万円 30年3月期 50,478百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		15.00		16.00	31.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		16.00		16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	59,000	4.6	1,600	42.7	1,400	30.1	700	8.6	33.66
通期	118,000	0.6	4,200	28.0	3,900	14.7	2,700	6.2	129.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	21,341,152 株	30年3月期	21,341,152 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	547,285 株	30年3月期	547,285 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	20,793,867 株	30年3月期1Q	20,500,842 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。海外においては、米国や中国では貿易摩擦の影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。

自動車業界におきまして、国内では普通・小型自動車の新車効果の一巡などにより減少傾向に推移し、北米及び中国では堅調に推移しました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は30,652百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は1,073百万円（前年同期比57.5%増）、経常利益は944百万円（前年同期比71.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は638百万円（前年同期比39.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (a) 自動車部品関連事業

自動車部品関連事業につきましては、国内、中国やタイでの増産などにより、売上高は29,825百万円（前年同期比8.0%増）となり、営業利益は1,122百万円（前年同期比47.9%増）となりました。

#### (b) ワイヤハーネス関連事業

航空機関連の受注が増加したことにより、売上高は577百万円（前年同期比1.8%増）、営業損失は43百万円（前年同期は81百万円の損失）となりました。

#### (c) 福祉機器関連事業

電動車いすの販売が減少したことなどにより、売上高は249百万円（前年同期比2.9%減）、営業損失は8百万円（前年同期は1百万円の利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (イ) 資産

当第1四半期末における総資産は、84,099百万円（前期末比2,007百万円の減少）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少（390百万円）などにより、54,082百万円（前期末比1,048百万円の減少）、固定資産は、有形固定資産の減少（797百万円）などにより、30,017百万円（前期末比959百万円の減少）となりました。

##### (ロ) 負債

当第1四半期末における負債は、34,350百万円（前期末比939百万円の減少）となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の減少（365百万円）などにより27,807百万円（前期末比868百万円の減少）、固定負債は、長期借入金の減少（392百万円）などにより6,542百万円（前期末比70百万円の減少）となりました。

##### (ハ) 純資産

当第1四半期末における純資産は、49,749百万円（前期末比1,068百万円の減少）となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、1,403百万円（前年同期比1.9%減）、投資活動に使用した資金は、632百万円（前年同期比60.1%増）、財務活動の結果減少した資金は、924百万円（前年同期比31.7%減）となりました。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は10,908百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,403百万円の増加となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が943百万円、減価償却費が1,113百万円であったものの、賞与引当金の減少額が712百万円であったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、632百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が510百万円であったことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、924百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が411百万円、配当金の支払額が332百万円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表しました予想から変更はございません。なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,884	12,896
受取手形及び売掛金	20,971	20,581
電子記録債権	6,606	6,511
たな卸資産	11,659	11,396
その他	3,506	3,185
貸倒引当金	△497	△489
流動資産合計	55,130	54,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,037	7,815
機械装置及び運搬具(純額)	6,888	6,682
その他(純額)	9,360	8,990
有形固定資産合計	24,286	23,488
無形固定資産		
その他	686	635
無形固定資産合計	686	635
投資その他の資産		
投資有価証券	5,580	5,349
その他	500	618
貸倒引当金	△77	△74
投資その他の資産合計	6,003	5,893
固定資産合計	30,976	30,017
資産合計	86,107	84,099
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,149	10,783
電子記録債務	6,445	6,566
短期借入金	2,788	2,875
未払法人税等	393	374
賞与引当金	1,212	499
製品保証引当金	202	272
その他	6,484	6,435
流動負債合計	28,676	27,807
固定負債		
長期借入金	3,102	2,710
退職給付に係る負債	2,157	2,157
その他	1,352	1,674
固定負債合計	6,613	6,542
負債合計	35,289	34,350

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,297	6,297
資本剰余金	6,049	6,049
利益剰余金	33,669	33,975
自己株式	△441	△441
株主資本合計	45,574	45,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,372	2,207
為替換算調整勘定	2,542	1,391
退職給付に係る調整累計額	△11	△12
その他の包括利益累計額合計	4,903	3,586
非支配株主持分	339	282
純資産合計	50,817	49,749
負債純資産合計	86,107	84,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	28,439	30,652
売上原価	25,420	27,201
売上総利益	3,019	3,450
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	669	772
給料手当及び賞与	586	580
賞与引当金繰入額	70	72
退職給付費用	20	18
減価償却費	96	69
その他	894	864
販売費及び一般管理費合計	2,337	2,376
営業利益	681	1,073
営業外収益		
受取利息	21	29
受取配当金	48	53
その他	46	51
営業外収益合計	116	134
営業外費用		
支払利息	91	91
為替差損	143	157
その他	13	15
営業外費用合計	248	264
経常利益	550	944
特別利益		
固定資産売却益	6	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産処分損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	556	943
法人税、住民税及び事業税	142	292
法人税等調整額	△61	△10
法人税等合計	81	282
四半期純利益	475	661
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	456	638



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	475	661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69	△165
為替換算調整勘定	△98	△1,166
退職給付に係る調整額	5	△0
その他の包括利益合計	△162	△1,331
四半期包括利益	312	△670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287	△678
非支配株主に係る四半期包括利益	24	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	556	943
減価償却費	1,261	1,113
賞与引当金の増減額(△は減少)	△718	△712
受取利息及び受取配当金	△70	△82
支払利息	91	91
固定資産処分損益(△は益)	△6	0
売上債権の増減額(△は増加)	△313	△161
たな卸資産の増減額(△は増加)	158	△64
仕入債務の増減額(△は減少)	523	322
その他	237	206
小計	1,720	1,654
利息及び配当金の受取額	71	77
利息の支払額	△91	△93
法人税等の支払額	△270	△235
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,430	1,403
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	0	△77
有形固定資産の取得による支出	△363	△510
投資有価証券の取得による支出	△13	△14
その他	△19	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△395	△632
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	88	186
長期借入金の返済による支出	△791	△411
リース債務の返済による支出	△271	△301
配当金の支払額	△327	△332
その他	△50	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,352	△924
現金及び現金同等物に係る換算差額	△142	149
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△460	△4
現金及び現金同等物の期首残高	9,683	10,912
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,222	10,908

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	27,615	567	256	28,439	—	28,439
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	6	0	6	△6	—
計	27,615	573	257	28,445	△6	28,439
セグメント利益又は損失(△)	758	△81	1	678	3	681

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	29,825	577	249	30,652	—	30,652
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	21	0	22	△22	—
計	29,825	598	250	30,674	△22	30,652
セグメント利益又は損失(△)	1,122	△43	△8	1,070	3	1,073

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。